

技術指導申請書 (日本語)

기술지도 신청서 (일본어)

申請番号: KJC-2026-0049

☑ 翻訳者: 번역가 계정 (translator)

📅 完了日: 2026-06-01 14:34:59

企業概要	企業名 (英文)	CM BIOFARM		
	所在地	(28164) 忠北清州市興徳区オソン 邑オソン生命14路16 CMバイオビル2階		
	業種	<div><div><input type="radio"/> 機械 / 重工業 (工作機械、産業機械、建設機械、プラント設備)</div><div><input type="radio"/> 金属 / 素材 (鉄鋼、非鉄金属、合金、新素材[炭素繊維、セラミックス等])</div><div><input type="radio"/> 電気 / 電子 / IT (半導体、ディスプレイ、電子部品、通信機器、電子機器)</div><div><input type="radio"/> 自動車 / 輸送機器 (完成車、自動車部品、鉄道・航空・船舶部品)</div><div><input type="radio"/> 化学 / 石油化学 (精密化学、高分子・プラスチック、合成樹脂、機能性素材)</div><div><input type="radio"/> エネルギー / 環境 (二次電池[バッテリー]、水素、新エネルギー、環境設備)</div><div><input type="radio"/> 食品 / 生活用品 (加工食品、飲料、消費財生産)</div><div><input type="radio"/> 繊維 / ファッション (一般繊維、機能性繊維、衣料製造)</div><div><input checked="" type="radio"/> バイオ / 医療 (医薬品、バイオ素材、医療機器、ヘルスケア)</div><div><input type="radio"/> その他</div></div>		
	設立年度	2026	従業員数	2
	主な生産品	なし (理由 : 製品開発段階のため在庫がありません)		
	ホームページ	https://cmbiopharm.com/		

技術指導 申請情報	指導希望期間	2026年 8月 ~ 11月 (4ヶ月)
	指導方法	<div><div><input type="radio"/> オフライン (訪韓指導) : 日本の技術者を企業の製造現場に招待して指導を受ける形式</div><div><input type="radio"/> オンライン (遠隔画像指導) : Zoom、Teams、Google Meetなどのビデオ会議プラットフォームを活用して指導を受ける形式</div><div><input checked="" type="radio"/> オン+オフライン並行指導</div></div>

	指導希望内容	1) セラミック・生体ガラス素材の製造工程の高度化
		2) 日本の製造現場に基づく技術指導、医療機器製造工程の安定化、工程安定化および不良率の低減
		3) ISOレベルの品質管理体制の構築
	技術指導希望分野	<input checked="" type="checkbox"/> 研究開発（新製品 / 新技術研究、新素材開発、プロトタイプ製作） <input type="checkbox"/> 設計（製品設計[CAD/CAE]、回路設計、金型 / 治工具設計） <input checked="" type="checkbox"/> 生産技術（工程設計、生産ライン構築、生産性向上、自動化推進） <input checked="" type="checkbox"/> 製造（加工、組立、成形、溶接、組立ライン運営） <input checked="" type="checkbox"/> 品質（品質検査、不良分析、ISO / KS認証対応、品質改善活動） <input type="checkbox"/> 設備 / 保全（生産設備点検、故障対応、予知保全、ロボット / 自動化設備管理） <input type="checkbox"/> 生産管理（生産計画立案、資材所要量管理[MRP]、原価 / 納期管理） <input type="checkbox"/> 購買 / 資材調達（原材料購買、協力会社管理、サプライチェーン管理） <input type="checkbox"/> 物流 / 在庫（原材料入出庫、製品出荷、物流自動化） <input checked="" type="checkbox"/> 安全 / 環境（労働安全管理、環境規制対応、ESG経営支援） <input type="checkbox"/> 市場調査（産業動向、競合分析、新技術トレンド調査） <input type="checkbox"/> その他
	悩み技術製品写真	<input checked="" type="checkbox"/> なし（理由: 製品開発段階のため在庫がありません）

申請のきっかけ	技術指導事業申請のきっかけ
<p>当社は、セラミックおよび生体ガラス素材を基盤として、医療機器市場への参入を準備しているスタートアップ企業です。当社代表は、以前より日本のHOYAのような精密素材・光学・セラミックを基盤とする製造企業の技術力および品質管理体制に高い関心を持っており、セラミック素材を基盤とした製造企業へと成長することを目標としております。</p> <p>そのような中で、日本のHOYAにおいて長年にわたり製造技術、生産技術、品質管理、海外工場運営の経験を有するベテラン技術者と知り合う機会があり、当社が現在準備しているセラミックおよび生体ガラス基盤の製造工程高度化において、実質的な支援を受けられるものと判断し、本技術指導事業に申請いたしました。</p> <p>また、当社代表は日本人の配偶者とともに会社を運営しているため、日本人技術者とのコミュニケーションおよび協業の基盤が比較的円滑であり、今回の技術指導を通じて、日本の製造現場における品質管理文化と工程改善ノウハウを当社の生産現場に直接適用したいと考えております。</p>	

期待効果	日本技術者指導の必要性および期待効果
	<p>本技術指導を通じて、当社は現在構築している清州製造工場の生産工程および品質管理水準を高度化し、医療機器市場参入に必要な製造基盤を体系的に整備したいと考えております。特に、セラミックおよび生体ガラス素材の製造過程で発生し得る品質のばらつきを低減し、原料混合、成形、乾燥、焼結、粉碎、分級、洗浄、包装など、各工程別の管理基準を確立することで、ISOおよび医療機器GMP水準に適合する生産管理・品質管理体制を構築することを目標としております。</p> <p>また、日本の製造現場で蓄積された生産技術、工程安定化、不良率低減、作業者教育、現場改善のノウハウを導入することにより、当社製造工場の量産信頼性と品質再現性を高めたいと考えております。これにより、単なる研究開発中心の企業にとどまらず、セラミックおよび生体ガラス基盤の医療機器素材・製品を安定的に生産できる製造企業へと成長するための基盤を整えることができるものと期待しております。</p> <p>当社は、ホヤ・テクノサージカルのようなグローバルな生体セラミック医療機器企業をベンチマークしております。ホヤ・テクノサージカルは、日本のHOYAグループの中核子会社であり、人工骨、骨補填材および整形外科用インプラント分野において強みを有する企業です。当社も、初期段階ではバイオ精製用セラミックレジン、オーラルケア製品、機能性セラミック素材などにより市場へ参入し、長期的にはHAp、β-TCP、BCPを基盤とした人体用・動物用の骨再生医療機器および生体セラミック素材プラットフォーム企業へと拡大していきたいと考えております。</p> <p>CMバイオフームは、バイオセラミック素材を通じて患者の生活の質の向上に貢献するバイオテクノロジー企業として、バイオ精製、人体組織・骨再生、動物用医療素材、オーラルヘルスケアを一つの高密度な素材プラットフォームとして結び付ける、Bioceramics Techno-Surgical Companyを目指しております。</p>